

市の将来像を考える “ 未来会議 ”

「10年後の裾野のまち」を実現するためすべきこと

8月27日(日)、生涯学習センターで市民意見交換会“未来会議”を開催しました。市民の皆さんが「田園未来都市」を具体化するため意見交換しました。

企画政策課
☎995-1804

対話から生まれた市の将来像 ～市長からの市政報告～



市政報告で高村市長は、昨年度の主要事業の進捗状況と今年度の主要事業について、「まち」「ひと」「しごと」「協働」「PR」の大きな5つに分類し説明しました。

これまで「創生会議」や「未来会議」などの“対話の場”で市民の皆さんに伺った意見・要望、毎年実施している市民意識調査の結果が、どのように市政へ反映しているかの視点で主要事業を紹介し“見える化”を行いました。

今後も住みよいまちとなるよう一人一人が考え、市民・企業・NPO・行政などが対話を通して取り組みを進めていくことが、郷土愛や裾野市民としての誇りであるシビックプライドの向上につながっていきます。これからも、このような機会を作り、市の取り組みをさらに発信して行くことを伝えました。



田園未来都市 具体化へ ～市民の皆さんが意見交換～

ワークショップのテーマは“田園未来都市とシビックプライド”。昨年度の「未来会議」で市民の皆さんからでた意見を



を集約し、「10年後の裾野のまち」を実現するためにすべきことを、10グループに分かれて議論を深めました。「みんなで子育てするまち」「若い世代が安住できるまち」など15項目から各グループ1つのテーマを絞り、グループ内でイメージの共有を図りました。イメージしたまちの実現に向けて、自分たちができることを考え、グループごとに意見を集約しました。また、会場内には、小さな子どもが遊べる「遊びスペース」を設け、参加者は、わいわいガヤガヤした楽しい雰囲気の中、時には真剣な議論を交わしていました。

市では、市民の皆さんが対話する場を設け、田園未来都市の具体化や市への愛着心の向上を図っていきます。

総合計画等評価委員会で総合計画の進捗状況を評価

8月8日(火)に、第4次総合計画後期基本計画などの進捗状況を評価するための評価委員会が行われました。委員会の有識者7人が評価した、総合計画で掲げる6つの施策の大綱は、右表のとおりとなりました。進捗に遅れのある事業は見直しを図り、平成32年度までに目標が達成できるよう進捗管理を行って行きます。

【凡例】

- A…目標を達成するために、順調に進捗している
- B…一部遅れはあるものの、目標の達成が見込まれる
- C…より一層の推進を要する

区分	施策の大綱	評価
健康・福祉	1. だれもが将来にわたってすこやかに暮らせる健康と福祉の「すその」	B
教育・文化	2. 成長するよこびと地域のつながりで心の豊かさを育む「すその」	B
生活・環境	3. 市民と行政が手を携えてつくる安心と活力のある「すその」	B
都市基盤	4. 豊かな自然と暮らしやすさが調和した「すその」	B
産業経済	5. 今ある魅力と資源を再発見し、未来へつなげる「すその」	A
行政経営	6. 健全な行政をみんなが実感できる市民と未来に開かれた「すその」	B
第4次総合計画後期基本計画 平成28年度進捗状況		B